

2023年12月1日
現勢2,723名
前月比 -7名
2,695名(1/1付)



発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 川口 直明

11月5日(日)に、小平・東村山市内9会場にて第46回住宅デーを開催しました。会場では、「包丁研ぎ」や「まな板削り」、「住宅相談」などの企画のほか、網戸の張り替えや塗装体験、消火器体験など各分会会場で様々な催しが実施され、全体で579名の来場者を集めました。開催した各会場の様子をレポートしていただきました。



みんなで懸命に砥ぐ

2時半過ぎに「ぼちぼち片づけますか」の声があり、撤収も手際よく完了。ここからみなさんお待ちかねの「お疲れさん会」です。会場は和室を貸し切り、分会長のあいさつで乾杯。染矢陽子さんの差し入れて、鍋にたくさんの『おでん』が！皆さんの疲れを吹き飛ばします。「おいしい！」の声がたくさんあり盛り上がりしました。来年もよろしくお願い致します。



驚くほどリアル

【野坂幸弘 実行委員】
第46回住宅デーを終えて、昨年と今年、2回にわたり住宅デーの実行委員をしてみて先人の方々の苦勞がわかりました。昨年はコロナ禍の中での開催でいろいろ制約のある中、会場の準備に苦勞しましたが、今年は例年通りの催しが多かったと思います。さらに、青年



塗装体験も大人気

【及川光正 実行委員】
野火止・北山分会合同で東村山市民センター駐車場にて開催。北山分会さんと合同で協力しながらできたことがとてもよかったです。また、場所柄か、近郊小学校へのチラシ配布を依頼でき、声掛け効果もあってか、子供たちの来客が多く北山分会さん手作りのスロ



住宅相談もチラホラ

【野火止・北山分会】
野火止・北山分会合同で東村山市民センター駐車場にて開催。北山分会さんと合同で協力しながらできたことがとてもよかったです。また、場所柄か、近郊小学校へのチラシ配布を依頼でき、声掛け効果もあってか、子供たちの来客が多く北山分会さん手作りのスロ

【野坂幸弘 実行委員】
第46回住宅デーを終えて、昨年と今年、2回にわたり住宅デーの実行委員をしてみて先人の方々の苦勞がわかりました。昨年はコロナ禍の中での開催でいろいろ制約のある中、会場の準備に苦勞しましたが、今年は例年通りの催しが多かったと思います。さらに、青年



輪投げも楽しむ

住宅デーをこれからも続けるには、組合員の皆様の協力なしではできません。これからも、この開催に

についても皆さんの知恵を出し合って、よりよい住宅デーにしていこうと思います。参加してくださった組合員の皆様、本当にありがとうございました。お疲れさまでした。

小平東 市民と笑顔の交流

【野坂幸弘 実行委員】
第46回住宅デーを終えて、昨年と今年、2回にわたり住宅デーの実行委員をしてみて先人の方々の苦勞がわかりました。昨年はコロナ禍の中での開催でいろいろ制約のある中、会場の準備に苦勞しましたが、今年は例年通りの催しが多かったと思います。さらに、青年

部からの参加もあり木工教室は大変にぎやかでした。ただ、当会場をはじめ、ほかの会場でもまな板削りは中止のところがあったようです。理由は削るときに出る電動カシナの音がうるさいとかが中止の理由だそうです。



たくさんの子供たちと工作

用水路

私の父は60歳で他界した。ガンで入院してわずか2か月で逝ってしまった。今、私は父と同じ年になった。そのせいか、「生きる」ということを強く思うようになった。いつも通りに仕事に行き、帰宅する。これがいかに大切なことか気づいた。我々建設業は、ケガや事故のリスクが高い職業だ。厚労省の報告によると、令和4年の建設業の労働災害は、全産業の約1割を占めている。前年よりも件数は少なくなっているが、死亡者数は前年比14となっていて、全体的に見るとまだ多い。報道でもよく取り上げられている。もし、ケガをして、入院となれば生活は一変する。日々何気なく送っている日常は、実は非常にもろいのだ。自分の命は自分で守る。そのためKY予知をし、年に1回、健康診断を受けよう。実はコレ、結構難しいけど。そして、仕事の悩みは組合に相談してみよう。なんでも相談に乗ってくれます。繰り返しですが、仕事行って帰宅して、風呂入って飯食って一杯飲む。この何気ない平凡な日常が続くことが大切なのだ。【柳瀬・後藤】

